

### 2017 ALL JAPAN KART CHAMPIONSHIP OK CLASS



**ROUND 9&10** 鈴鹿サーキット南コース

開催日：10月28日～29日

コンディション：ウェット

参加台数：27台



## タイムトライアルで悲願の 1・2・3を達成も台風による雨に翻弄される

遂に2017全日本カート選手権も最終戦。チームは木曜日から走行を開始、順調にテストを重ねてドライでのパフォーマンスは週末に向けて非常に期待出来る状態であった。しかし台風22号による影響で、公式スケジュールの始まる土曜日からは雨が降ってしまい、全てのセッションにおいてウェットコンディションのレースとなった。

そのウェットコンディションによるタイムトライアルでは、3選手による、1・2・3を達成！TONYKART/VORTEX/BRIDGESTONEのパフォーマンスの高さを証明した。しかし、レースは時折激しく降る雨に足元をすくわれ、最終戦の決勝は大雨によるレース中止によってキャンセルとなってしまった。



**Round 9 #24宮下が6位入賞。**

ポールポジションは#9佐々木、セカンドに#5高橋の2人でスタート、しかしオープニングラップで#5高橋が痛恨のスピード。レース序盤は#9佐々木がレースを支配するも終盤には2位に後退。最終的には#9佐々木もリタイア。  
#24宮下が最後尾スタートから6位入賞を果たす。

**Round 10 #9佐々木が優勝！**

予選ヒートを#9佐々木が途中の赤旗中断を挟んだヒートを制し、決勝のポールポジションを獲得。しかし、決勝前に台風の影響が大きくなり、大きな雨粒が落ちてきてしまう。  
結局決勝レースは中止となり、予選の結果をもって第10戦は終了、#9佐々木が優勝！



**#5 HARUYUKI TAKAHASHI**

Q. P. p. 2 R. 9予選p. 2 決勝p. 20 R. 2予選 DNF 決勝 中止



レインコンディションでのレースには自信があり、順調にレースウィークを進めていくことができました。タイムトライアルではチームで1、2、3位を独占。ですが決勝ヒートでは雨量の増加によりスピニングアウトリタイアに終わってしまいました。調子が良かっただけに悔しいです。大事な場面でのミスにより勝てるレースを棒に降ってしまいました。BRIDGESTONEのタイヤ開発ドライバーとしてオールラウンドで使えるタイヤを開発しなくてはと改めて痛感しました。今年最後のレースでリタイアで終わってしまったことはとても残念ですがチームメイトの佐々木大樹選手が優勝を飾ってくれたことをとても嬉しく思っています。今年一年BRIDGESTONE、TONYKART、VORTEXのパッケージで戦えたことに嬉しく思い、感謝しています。ありがとうございました。

**#9 DAIKI SASAKI**

Q. P. p. 1 R. 9予選p. 1 決勝p. 19 R. 10予選P. 1 決勝 中止



今週末は良い週末を過ごすことができました。最終戦に来て、TONYKART/VORTEXというパッケージは、ドライでもウェットでも高いポテンシャルがありました。ドライバーとしての走りにも自信がありました。その自信から、1回目の決勝に向けて、予選ヒートで気持ちよく走りすぎてタイヤを使いすぎてしまったことは反省ですが、結果として、最終戦は優勝することができ、良い形でシーズンを終えることができました。苦しいシーズンでしたが、どんな時も100を出し切ってくれたチームに感謝しています。これからの自分の糧になるシーズンを過ごすことができ、さらなる飛躍を目指します。

**#24 GENTO MIYASHITA**

Q. P. p. 3 R. 9予選 DNF 決勝p. 6 R. 10予選 DNF 決勝 中止



今回、最終戦となった鈴鹿大会では、タイムトライアルで上位を取れましたが、その勢いを結果につなげることができず、惜しいレースとなってしまいました。勿体無かったと思います。この1年、結果は出せなかったものの、自分としてはとても成長できるものがあり、トニーチームのみなさんとレースができたことを嬉しく思います。この悔しさを糧にもっと努力し、来年につなげていきます。1年間ありがとうございました。